

C01 自治体職員のための金融基礎講座(日本経済と金利の動向①)	
平均所要時間	60分
対象業務	財政、起債、資金運用、地方公会計、一般会計各事業、公営企業各事業
難易度	★☆☆
学習の目的	経済と金利の関係、日銀の金融政策、金利の動向について、基礎的な知識を習得する。
前提知識	高校卒業程度の経済・金融の知識
学習目標	「学習の目的」と同様
コース構成	<p>1. 経済と金利 [7:37] 経済とは何か / 日本経済の鳥瞰図(イメージ) / 金利とは何か / 金利の決まり方</p> <p>2. 近年の物価上昇の背景 [11:20] 近年の物価上昇の伝播経路 / エネルギー価格の推移 / 穀物価格の推移 / 円安の進行 / 円安の背景:日米金利差の拡大 / 米国金利が高いと円安になる理由 / 輸入物価の上昇 / 国内企業物価の上昇 / 消費者物価伸び率(月次)の推移 / 賃金の動向</p> <p>3. 金融政策と金利動向 [22:16] 日本銀行の役割と機能 / 日銀政策委員会と金融政策決定会合 / 【参考】日銀の情報発信 / 日銀の金融調節手法 / 日銀オペレーション(公開市場操作) / 近年の金融政策と金利の推移 / 黒田総裁時代(2013~23年)の金融政策運営 / 【参考】日本銀行の物価目標(2013年1月公表) / 植田総裁就任(2023年4月)後の金融政策運営 / 資金供給は急増後、横ばいから減少へ / 日銀の国債保有残高は急増後、減少方針へ / 国債金利の推移 / イールドカーブ(利回り曲線)の上昇 / 展望レポート・ハイライトー経済・物価情勢の展望ー</p> <p>【参考】「出前講座」「実務支援」(個別相談)のご紹介 [2:59]</p>